

調平正

次にあげる国名と数字を見てピンとくる人もいるだろう。ロシア5975、米国5425、中国350、フランス290、英国225、パキスタン165、インド160、イスラ

エル90、北朝鮮40◆核兵器を持つ世界の国を、保有する核弾頭が多い順に並べた。昨年より410発減っているが、推計した長崎大は「ロシアのウクライナ侵攻で自衛のための核依存度は高まっている」と分析する◆日本でも、自民党の一部や日本維新の会から「核共有」の議論が出始めた。米国の核を日本に配備して共同運用しよう、という発想である。当然、仮想敵とみなされた国の緊張は高まる。そっちがやるならこっちもーと歯止めのだがは外れる。先日、米国の下院議長が台湾を訪問すると中国は弾道ミサイル11発でお返しした◆核抑止論は英国首相のチャーチルが述べた「恐怖の均衡」という考えに基づく。だが相手を恐怖で支配するには圧倒的な核の力がある。その結果が、先にあげた計1万2720発の核弾頭である◆核の脅威をちらつかせ、恐怖をあおるのは誰か。いつの時代も、地べたで汗を流す人々でないことははっきりしている◆今日は広島原爆忌。地元選出の首相の言葉も気になるが、被爆地の底から届く声にこそ耳を澄ませたい。 2022.8.6

このコラムを100字以内で要約してみましょう。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

Grid for writing a 100-character summary.

なまえ【 】